

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|--|--------|----------------|
| 建物名称 | (仮称)三浦市南下浦町共同住宅新築工事 | 階数 | 地上16F |
| 建設地 | 神奈川県三浦市南下浦町上宮田1490-1、1490-7、1490-8、1490-11、1490-12 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第一種中高層住居専用地域、近隣商業地域、法22条地域 | 平均居住人員 | 950人 |
| 地域区分 | 7地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2025年9月 予定 | 評価の実施日 | 2023年6月1日 |
| 敷地面積 | 9,001㎡ | 作成者 | 鉄建建設株式会社 |
| 建築面積 | 2,016㎡ | 確認日 | 2023年6月2日 |
| 延床面積 | 19,755㎡ | 確認者 | 鉄建建設株式会社 |



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 77% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 77%

④上記+ 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.5

Q2 サービス性能: 3.2

Q3 室外環境(敷地内): 2.8

LR1 エネルギー: 4.2

LR2 資源・マテリアル: 2.8

LR3 敷地外環境: 3.2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--------------|---|--|
| 総合 | 海岸エリアのリゾートの雰囲気と調和した建物計画とし、公開空地や緑地帯を設けるなど積極的に周辺環境に配慮した計画とした。 | その他 特に無し |
| Q1 室内環境 | 建築基準法規制対象外の建築材料をほぼ全面的に使用し室内環境向上に配慮した。 | Q3 室外環境(敷地内) 敷地周囲に緑地帯と通り抜け通路を設け周辺環境と地域住民に配慮した計画とした。 |
| LR1 エネルギー | 断熱性能は品確法断熱性能等級4を確保した。 | LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出量を参照値の77%となるよう計画しCO ₂ 削減に配慮した。 |
| Q2 サービス性能 | 建築物移動等円滑化基準を満たし快適な住環境となるよう配慮した。 | |
| LR2 資源・マテリアル | 節水コマ・節水便所を用いることで水資源の保護へ配慮した。 | |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される